

令和 4 年度 (2022 年度) 学生便覧の訂正について

対象：2022 年度入学 子ども教育開発専修

2022 年度入学 国語教育専修（小）

2022 年度入学 社会科教育専修（小）・（中）

2022 年度入学 理科教育専修（小）・（中）

2022 年度入学 音楽教育専修（小）・（中）

2022 年度入学 保健体育専修（小）・（中）

2022 年度入学 英語教育専修（小）・（中）

2022 年度入学 教育学部以外

訂正事項：

- ①「履修基準表」の必修および自由科目の単位数（保体）
- ②「各教科の指導法」の必修選択の別（国、理、音、保体、英語）
- ③「現代的・地域的教育課題に関する科目」の科目の備考欄記載（社）
- ④「子ども教育開発専修専門科目」の選択科目の変更
- ⑤「国語教育専修（小）専門科目」の必修選択の別（国）
- ⑥副免のための教育課程・特別支援学校教諭免許状の科目
- ⑦全学共通の教育実習等科目の履修年次の変更、「●教育実習の登録条件（4 年次実習）（教育学部以外）一覧における記述の修正

※ 詳細は次ページ以降に記載していますので、対象となる学生は、
よく確認すること。

2. 履修基準表

科 目 専修			共通教育等 (注6)	学部共通		コース共通			専修専門 (専攻共通含む)		自由科目 (注4)	卒業研究	卒業要件
				教育の総合的理解 (注1)	現代的・地域的教育課題に関する科目	小学校教科	各教科の指導法	教職実践に関する科目 (注2)	必修	選択			
小 学 校 教育コース	学校教育専攻	教育実践学専修	20	21	5	20	20	10	15	9	0	4	124
		子ども教育開発専修	20	21	5	20	20	11	16	7	0	4	124
	教科教育専攻	国語教育専修	20	21	5	14	20	10	22	8	0	4	124
		社会科教育専修	20	21	7	14	20	10	10	12	6	4	124
		数学教育専修	22	21	5	14	20	10	10	9	9	4	124
		理科教育専修	20	21	5	14	20	10	16	10	4	4	124
		音楽教育専修	20	21	5	14	20	10	19	11	0	4	124
		美術教育専修	20	21	5	14	22	10	11	12	5	4	124
		保健体育専修	20	21	5	14	20	10	22	7	1	4	124
		技術教育専修	22	21	5	14	20	10	16	4	8	4	124
		生活科学教育専修	20	21	5	14	20	10	20	6	4	4	124
		英語教育専修	20	21	5	14	20	10	17	13	0	4	124
		国語教育専修	20	21	5	—	8	10	20	22	14	4	124
		社会科教育専修	20	21	7	—	8	10	26	12	16	4	124
中 学 校 教育コース	教科教育専攻	数学教育専修	22	21	5	—	8	10	22	6	26	4	124
		理科教育専修	20	21	5	—	8	10	20	28	8	4	124
		音楽教育専修	20	21	5	—	8	10	30	10	16	4	124
		美術教育専修	20	21	5	—	10	10	11	22	21	4	124
		保健体育専修	20	21	5	—	8	10	27	12	17	4	124
		技術教育専修	22	21	5	—	8	10	20	22	12	4	124
		生活科学教育専修	20	21	5	—	8	10	26	12	18	4	124
		英語教育専修	20	21	5	—	8	10	27	25	4	4	124
		特別支援教育専修(小)	20	21	5	10	20	** 9	28	7	0	4	124
		特別支援教育専修(中)	20	21	5	—	8	** 9	28	* 29	0	4	124
特 別 支 援 教育コース	特別支援教育専攻 (注3)												

(注1)教育の総合的理解(21)＝教育の基礎的理解に関する科目(10)＋道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(11)

(注2)教職実践に関する科目(10)＝教職体験Ⅰ(1)＋教職体験Ⅱ(1)＋介護等体験指導(1)＋学校教育実践研究(1)＋教育実習(4)＋教職実践演習(2)

※子ども教育開発専修においては、教職体験Ⅱの代わりに、子ども学フィールドワーク(2)を履修し、教育実践に関する科目を11単位履修すること。

※特別支援教育専修においては、教職体験Ⅱの代わりに、インクルーシブ教育フィールドワーク(1)を履修すること。

※教職実践演習の一部クラスでは、教職実践研究(自由科目)の履修を前提としているので、注意すること。

(注3)特別支援教育専攻中学校選修の※は、特別支援教育専修の提供する選択科目の他に、1教科の中学校一種免許状取得に必要な『教科に関する専門的事項』の科目20単位以上を含むこと。

※※は、介護等体験指導(1)を省く。

(注4)自由科目は、共通教育等科目又は専門教育科目から履修することができる。

(注5)現代的・地域的教育課題に関する科目においては、「地域志向教育科目」を1科目以上履修すること。

(注6)共通教育科目のうち健康運動系科目の「運動・スポーツ科学演習」については、1種目のみ履修可能(複数種目の履修は不可)。

(4)各教科の指導法

- ・小学校教育コースは、「各教科の指導法」(小学校)について履修すること。
- ・中学校教育コースは、当該専修の「各教科の指導法」(中学校)について履修すること。

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目		必修選択の別		単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容	備 考
	科目番号	科 目 名	小	中						
・各教科の指導法 (小学校)	国402	初等国語科教育法	必	自	2	2-0	2-3	前・後	小学校国語科教育についての基礎的研究	理科教育専修・ 中コースは選択
	社390	初等社会科教育法	必	自	2	2-0	2-3	前・後	小学校社会科教育の目標、内容、方法等に関する具体的講述	
	教数355	初等算数科教育法	必	自	2	2-0	2-3	前・後	小学校算数科教育の目標、内容、方法等に関する具体的講述	
	理390	初等理科教育法	必	自	2	2-0	2-3	前・後	小学校理科教育の目標、内容、方法等に関する具体的講述	
	教共302	初等生活科教育法	必	自	2	2-0	2-3	前・後	小学校生活科教育の目標、内容、方法研究の成果に基づいた具体的な授業実践の検証を通して生活科の在り方について学ぶ	
	音365	初等音楽科教育法	必	自	2	2-0	2-3	前・後	小学校音楽科教育の目標、内容、方法等に関する具体的講述	音楽教育専修・ 中コースは選択
	美251	初等図工科教育法	必	自	2	2-0	2-3	前・後	小学校図工科教育の目標、内容、方法等についての具体的講述	美術教育専修・ 中コースは必修
	体361	初等体育科教育法	必	自	2	1-2	2-3	前・後	小学校体育科教育の目標、内容、方法等に関する具体的講述	体育教育専修・ 中コースは選択
	家392	初等家庭科教育法	必	自	2	2-0	2-3	前・後	小学校家庭科教育の目標、内容、方法等に関する具体的講述と実践	英語教育専修・ 中コースは選択
	英教602	初等外国語教育法	必	自	2	2-0	2-3	前・後	小学校外国語教育の目標、内容、方法等に関する具体的講述と実践	
・各教科の指導法 (中学校)	国403	国語科教育法A	自	必	2	2-0	2-3	前又は後	学習指導要領を踏まえた授業構想を学ぶ	国語教育専修
	国404	国語科教育法B	自	必	2	2-0	2-3	前又は後	具体的実践例をもとに授業を構想する	
	国405	国語科教育法C	自	必	2	2-0	2-3	前又は後	模擬授業と省察を繰り返し体験的に学ぶ	
	国407	国語教育論Ⅱ	必	必	2	2-0	2-3	前又は後	模擬授業と省察を繰り返し体験的に学ぶ	
	社393	社会科教育法Ⅰ	自	必	2	2-0	2	前	社会科教育(公民系)の目標、内容、方法等に関する指導	社会科教育専修
	社394	社会科教育法Ⅱ	自	必	2	2-0	2	後	社会科教育(公民系)の内容とその展開の研究	
	社400	社会科教育法Ⅲ	自	必	2	2-0	2	後	社会科教育(地理歴史系)の目標、内容、方法等に関する指導	
	社401	社会科教育法Ⅳ	自	必	2	2-0	3	前	社会科教育(地理歴史系)の内容とその展開の研究	
	教数353	数学科教育法A	自	必	2	2-0	2	後	数学教育の目的、内容、方法、歴史等に関する概説	数学教育専修
	教数354	数学科教育法B	自	必	2	2-0	3	前	数学教育の内容、教材、方法に関する具体的講述	
	教数356	数学科教育法C	自	必	2	2-0	3	前	数学教育の教材、方法、授業に関する実践的講述	
	教数351	数学科教育法D	自	必	2	2-0	3	後	数学教育の目的、内容、方法等の特定領域に関する考究	
	理391	理科教育法A	選	必	2	2-0	3	前	中・高理科教育の目標、内容、方法等に関する総論	理科教育専修
	理392	理科教育法B	選	必	2	2-0	3	前又は後	中・高理科教育の教材の活用法や学習評価等に関する概説及び模擬授業の実施とその振り返り	
	理393	理科教育法C	選	必	2	2-0	3	前又は後	物理的・地学的内容を中心とした中・高理科教育の教材の効果的な活用法等について	
	理495	理科教育法D	選	必	2	2-0	3	前又は後	生物的・化学的内容を中心とした中・高理科教育の教材の効果的な活用法等について	

(2) 現代的・地域教育課題に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目		必修 選択 の別	単 位 数	週時間	受講 年次	学期	授 業 内 容	備 考
	科目番号	科 目 名							
大学が独自に設定する科目	教共113	新聞活用実践講座	選必	2	2-0	1-4	前	学校教育現場に新聞を活用するNIEの取り組みや新聞の特長、役割を学び、情報活用能力を養う。併せて、ワークショップ形式で、子どもたちの言語活動の充実や思考力、判断力、表現力等を培う新聞の可能性や活用法を学ぶ	地域志向教育科目の7科目から1科目以上
	教共215	離島・へき地教育概論	選必	2	2-0	2-4	前	離島・へき地の学校教育の現状と課題を概観する	
	教共216	子どもと多言語・多文化教育	選必	2	2-0	2-3	前	学校教育における外国人および日本語を母語としない児童生徒の現状と課題、その指導方法について概観する	
	教共120	環境科学概論	選必	2	2-0	1-4	後	身近な自然環境について、科学的視点から概説する。	
	教共121	琉球・沖縄史を学びあう	選必	2	2-0	1-4	前	琉球・沖縄史を巡る諸問題について学びあう。	※社会科教育専修は専修専門必修科目
	教共123	沖縄の環境と社会	選必	2	2-0	1-4	後	沖縄の環境問題と沖縄社会との関連について、哲学、社会学、政治学、地理学等の視点から考察する方法を学ぶ。	
	教共119	沖縄生活文化論	選必	2	2-0	1-4	後	沖縄の生活文化について、食生活を中心にその現状を踏まえながら、生活課題について考察する	
	英教389	小学校英語演習Ⅰ	選必	2	2-0	3-4	前	外国語活動及び教科外国語を担当する際に必要となる基本的な指導法や指導技術について学ぶ	※教育実践学専修は専修専門必修単位、小コース英語教育専修は専門選択単位
	技181	ものづくり概論	選必	2	2-0	1-2	後	普通教育におけるものづくり教育の役割とその理論的背景、具体的な授業実践例等を紹介するとともに、製作活動を通して、ものづくり活動の教育的有用性を検証していく	
	教共122	平和教育学概論	選必	2	2-0	1-4	後	沖縄戦、軍事基地を巡る諸問題について概観し、平和教育の目標・方法について考察する。	
	教共601	小学校プログラミング教育概論Ⅰ	選必	1	1-0	2-4	前・後	プログラミングに関する基礎的な技能を身につけるとともに、児童にプログラミング的思考を育む実践的な授業を考案できるようになる。	
	教共602	小学校プログラミング教育概論Ⅱ	選必	1	1-0	2-4	前・後	Ⅰを受講済の学生が指導補助者として参加することにより、児童にプログラミング的思考を育む実践的な授業力を伸ばす	Ⅰを受講済みであること。

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目		必修選択の別		単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容	備 考
	科目番号	科 目 名	小 コース	中 コース						
・各教科の指導法 (中学校)	音371	音楽科教育法A	選	必	2	2-0	2	前	中学校及び高等学校における音楽科教育の基礎理論	音楽教育専修
	音372	音楽科教育法B	選	必	2	2-0	2	後	中学校及び高等学校における音楽科教育の基礎実践	
	音373	音楽科教育法C	選	必	2	2-0	3	前	中学校及び高等学校における音楽科教育の理論と実践の往還	
	音374	音楽科教育法D	選	必	2	2-0	3	後	中学校及び高等学校における音楽科教育の発展演習	
	美252	美術科教育法A	必	必	2	2-0	2	前	美術教育についての基礎的理論及び授業研究	美術教育専修
	美351	美術科教育法B	選	必	2	2-0	3	前	美術教育の指導内容、指導方法等の研究	
	美352	美術科教育法C	選	必	2	2-0	3	後	美術教育の指導内容、指導方法等の研究	
	美359	美術科教育法D	選	必	2	2-0	4	前	美術教育の指導内容、指導方法等の研究	
	体366	保健体育科教育法A	選	必	2	2-0	2	後	保健体育科の目標、内容方法に関する指導	保健体育専修
	体367	保健体育科教育法B	選	必	2	2-0	3	前	保健体育科の目標、内容方法に関する指導	
	体368	保健体育科教育法C	選	必	2	2-0	3	前	保健体育科の目標、内容方法に関する指導	
	体369	保健体育科教育法D	選	必	2	2-0	3	後	保健体育科の目標、内容方法に関する指導	
	技271	技術科教育法A	自	必	2	2-0	2	後	技術科教育の目標、内容、指導法、授業観察、模擬授業など	技術教育専修
	技371	技術科教育法B	自	必	2	2-0	3	前	教材教具、学習指導案作成及び評価について	
	技372	技術科教育法C	自	必	2	2-0	3	後	実習室の管理運営、実習の安全、事故・災害事例とその対策について	
	技471	技術科教育法D	自	必	2	2-0	4	前	技術科教育の国内外の授業実践例について	
	家291	家庭科教育法A	自	必	2	2-0	2	後	中学校技術・家庭科家庭分野各領域の内容の取扱いと授業研究	生活科学教育専修
	家390	家庭科教育法B	自	必	2	2-0	3	前	高等学校家庭科の各領域の内容の取扱いと授業研究	
	家391	家庭科教育法C	自	必	2	2-0	3	後	中・高校家庭科の教育基礎理論	
	家501	家庭科教育法D	自	必	2	2-0	4	前	家庭科における学習法と評価法についての指導実践	
	英教291	英語科教育法A	選	必	2	2-0	2	後	英語科教育の理論と実践を学ぶ	英語教育専修
	英教391	英語科教育法B	選	必	2	2-0	3	前	英語科教育の理論と実践を学ぶ	
	英教392	英語科教育法C	選	必	2	2-0	3	後	英語科教育の理論と実践を学ぶ	
	英教393	英語科教育法D	選	必	2	2-0	4	前	英語科教育の理論と実践を学ぶ	

必修選択の別	科目番号	授 業 科 目	単 位	週時間	受 講 年 次	学 期	授 業 内 容	備 考
選 択	教職203	学習心理学	2	2-0	2	後	健常児及び障害児の学習の過程、学習に関する理論及び学習指導の概説	教免科目 子どもの文化・生活世界
	子201	子どもの発達と教育・学校制度	2	2-0	2	前	子どもの発達と教育制度・学校制度についての概説を行なう	子どもの文化・生活世界
	子202	教育と法	2	2-0	2～3	後	学校教育に関する法令や裁判例を読み解くための基本的な知識を学び、応用する	子どもの文化・生活世界
	子205	子どもと社会	2	2-0	2	後	子どもの社会的位置づけがどう変化してきたか歴史的かつ国際比較を交えた視点から考える	子どもの文化・生活世界
	子206	学校経営と学校図書館	2	2-0	2	前又は後	学校図書館の教育的意義や経営などについて学ぶ	司書教諭資格 必修 子どもの文化・生活世界
	子207	学校図書館メディアの構成	2	2-0	2～3	前又は後	学校図書館メディアの構成に関する理解及び実務能力の育成を図る	司書教諭資格 必修 子どもの文化・生活世界
	子208	学習指導と学校図書館	2	2-0	2～3	前又は後	学習指導における学校図書館メディアの活用について学ぶ	司書教諭資格 必修 子どもの文化・生活世界
	子209	読書と豊かな人間性	2	2-0	2～3	前又は後	児童生徒の発達段階に応じた読書教育の理念と方法について学ぶ	司書教諭資格 必修 子どもの文化・生活世界
	子212	乳幼児教育学	2	2-0	2	前又は後	幼小連携を視野に入れながら、小学校教育と幼稚園教育との連続性や課題について学ぶ	幼児の発達と教育
	子304	情報メディアの活用	2	2-0	3～4	前又は後	学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用法について学ぶ	司書教諭資格 必修 子どもの文化・生活世界
	子306	子ども読書論	2	2-0	3～4	前又は後	子どもと読書を巡る諸問題について考察する	子どもの文化・生活世界
	教職201	児童心理学	2	2-0	2	後	健常児及び障害児の児童期における発達過程、性格形成等の諸問題の概説	教免科目 幼児の発達と教育
	教職332	幼児理解	2	2-0	3	前	乳幼児における発達過程、性格形成等の諸問題の概説	教免科目 幼児の発達と教育
	教職351	幼稚園教育課程の編成方法	1	1-0	2～3	前又は後	幼稚園教育課程の意義及び編成方法	教免科目 幼児の発達と教育
	教職352	幼児の教育方法	1	1-0	2～3	前又は後	幼児の教育及び方法の理論と実践	教免科目 幼児の発達と教育
	教職353	健康	2	2-0	2～4	前又は後	幼稚園における保育内容の一領域である「健康」のねらい・内容を理解し実践のあり方を習得する	教免科目 幼児の発達と教育
	教職251	人間関係	2	2-0	2～4	前又は後	幼稚園における保育内容の一領域である「人間関係」のねらい・内容を理解し実践のあり方を習得する	教免科目 幼児の発達と教育
	教職252	環境	2	2-0	2～4	前又は後	幼稚園における保育内容の一領域である「環境」のねらい・内容を理解し実践のあり方を習得する	教免科目 幼児の発達と教育
	教職253	言葉	2	2-0	2～4	前又は後	幼稚園における保育内容の一領域である「言葉」のねらい・内容を理解し実践のあり方を習得する	教免科目 幼児の発達と教育

選択 (8単位)	国216	日本古典文学特講ⅡA	2	2-0	3~4	前	日本古典文学についての専門的講義	
	国217	日本古典文学特講ⅡB	2	2-0	3~4	後	日本古典文学についての専門的講義	
	国218	日本古典文学特講Ⅲ	2	2-0	1~4	前又は後	日本古典文学についての専門的講義	教員免許外科目
	国219	日本古典文学演習Ⅰ	2	0-2	3~4	通 年	日本古典文学に係る特定の問題の演習	
	国220	日本古典文学演習Ⅱ	2	0-2	3~4	通 年	日本古典文学に係る特定の問題の演習	
	国302	漢文学講読Ⅰ	2	2-0	2~4	前又は後	漢文学の基礎的作品の講読	
	国303	漢文学講読Ⅱ	2	2-0	2~4	前又は後	漢文学の基礎的作品の講読	
	国304	漢文学特講ⅠA	2	2-0	3~4	前	漢文学についての専門的講義	
	国305	漢文学特講ⅠB	2	2-0	3~4	後	漢文学についての専門的講義	
	国306	漢文学特講ⅡA	2	2-0	3~4	前	漢文学についての専門的講義	
	国307	漢文学特講ⅡB	2	2-0	3~4	後	漢文学についての専門的講義	教員免許外科目
	国308	漢文学特講Ⅲ	2	2-0	1~4	前又は後	漢文学についての専門的講義	
	国309	漢文学演習Ⅰ	2	0-2	3~4	通 年	漢文学に係る特定の問題の演習	
	国310	漢文学演習Ⅱ	2	0-2	3~4	通 年	漢文学に係る特定の問題の演習	
	国414	ことばの教育特講ⅠA	2	2-0	3~4	前	ことばの教育についての専門的講義	
	国415	ことばの教育特講ⅠB	2	2-0	3~4	後	ことばの教育についての専門的講義	
	国416	ことばの教育特講ⅡA	2	2-0	3~4	前	ことばの教育についての専門的講義	
	国417	ことばの教育特講ⅡB	2	2-0	3~4	後	ことばの教育についての専門的講義	大学が独自に設定する科目
	国418	ことばの教育特講ⅢA	2	2-0	3~4	前	ことばの教育についての専門的講義	
	国419	ことばの教育特講ⅢB	2	2-0	3~4	後	ことばの教育についての専門的講義	
	国420	ことばの教育特講ⅣA	2	2-0	3~4	前又は後	ことばの教育についての専門的講義	
	国421	ことばの教育特講ⅣB	2	2-0	3~4	前又は後	ことばの教育についての専門的講義	
	国422	ことばの教育特講Ⅴ	2	2-0	1~4	前又は後	ことばの教育についての専門的講義	教員免許外科目
	国423	ことばの教育特講Ⅵ	2	2-0	1~4	前又は後	ことばの教育についての専門的講義	
	国424	ことばの教育演習Ⅰ	2	0-2	3~4	通 年	ことばの教育に係る特定の問題の演習	大学が独自に設定する科目
	国425	ことばの教育演習Ⅱ	2	0-2	3~4	通 年	ことばの教育に係る特定の問題の演習	
	国426	ことばの教育演習Ⅲ	2	0-2	3~4	通 年	ことばの教育に係る特定の問題の演習	
	国427	ことばの教育演習Ⅳ	2	0-2	3~4	通 年	ことばの教育に係る特定の問題の演習	
	国428	ことばの教育フィールドワークⅠ	2	0-2	1~4	集 中	現場の参観・実践等によることばの教育の探究	教員免許外科目
	国429	ことばの教育フィールドワークⅡ	2	0-2	1~4	集 中	現場の参観・実践等によることばの教育の探究	
自由	国403	国語科教育法A	2	2-0	2~3	前又は後	学習指導要領を踏まえた授業構想を学ぶ	中学校・教科の指導法
	国404	国語科教育法B	2	2-0	2~3	前又は後	具体的実践例をもとに授業を構想する	
	国405	国語科教育法C	2	2-0	2~3	前又は後	模擬授業と省察を繰り返し体験的に学ぶ	
	国502	書道Ⅱ	1	0-2	1~4	後	硬筆及び毛筆によるさまざまな書体の理論と実習	教員免許外科目
	国504	沖縄のことばと文化	2	2-0	1~4	前又は後	沖縄の言語文化をめぐる諸事項の概説	
	国505	沖縄の文学	2	2-0	1~4	前又は後	沖縄の文学についての講読を含む概説	
	国506	思春期の自立とことば	2	2-0	1~4	前又は後	思春期の人間形成と言語との関わりについての概説	

国語教育専修提供の課程共通科目

必修 選択 の別	科目番号	授 業 科 目	単位	週時間	受 講 年 次	学 期	授 業 内 容	
必修	国401	国語概説	2	2-0	1~2	前又は後	小学校国語の全領域にわたる基本的事項の概説(書写を含む。)	小学校・教科に関する科目
必修	国402	初等国語科教育法	2	2-0	2~3	前又は後	小学校国語科教育についての基礎的研究	小学校・教科の指導法

4. 全学共通の教育実習等科目

共通で開設される教育の基礎的理解に関する科目等（中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭）

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		必修 選択 の別	単 位 数	週 時 間	受講 年次	学 期	授 業 内 容	備 考
科 目	各科目に含める必要事項	科目番号	科 目 名							
教育の 基礎的 理解に 関する 科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	全教111	教職入門	必	2	2-0	1	前・後	教職の意義、教員の役割、職務内容、活動についての概説	中・高・養・栄
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	全教121	教育原理	必	2	2-0	1～2	前・後	教育の理念、歴史、思想の概説を行なう	中・高・養・栄 教職入門を履修済みの
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	全教221	教育心理学	必	2	2-0	2～3	前・後	健全児及び障害児の発達、学習、評価、適応等の教育心理	中・高・養・栄
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	全教502	特別の支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援	必	1	1-0	3	前・後	発達障害を含む特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する	中・高・養・栄
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	全教215-1	教育社会学A	選必	2	2-0	2～3	前又は後	教育の実践・制度の現実を社会学の視点から考察する	中・高・養・栄 いずれか1科目選択必修
		全教215-2	教育社会学B	選必	2	2-0	2～3	前又は後	教育の実践・制度の現実を社会学の視点から考察する	
		全教216	教育の社会史	選	2	2-0	2～3	前又は後	日本国民形成論(教育論)の特質の究明	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	全教231	教育課程	必	1	1-0	2～3	前・後	中等教育課程に関する理論と実践	中・高・養・栄
道徳、 総合的 な学習 の時間 等の指 導法及 び生徒 指導、 教育相 談等に 関する 科目	教育の方法及び技術	全教232	教育方法	必	1	1-0	2～3	前・後	中等教育の方法に関する理論と実践	中・高
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)									養・栄
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	全教131	教育におけるICT活用	必	1	1-0	1後～2前		教育現場におけるICT(情報通信技術)の役割について理解する。	中・高
	道徳の理論及び指導法	全教233	道徳教育の理論と実践	必	2	2-0	2～3	前・後	中等学校道徳教育に関する研究	中・養・栄
	特別活動の指導法	全教235	特別活動論	必	2	2-0	3	前・後	中等特別活動に関する研究	中・高・養・栄
	総合的な学習の時間の指導法	全教501	総合的な学習の時間	必	1	1-0	3	前・後	総合的な学習の時間について、教育課程における位置づけや、現在行われている実践を理解する。	中・高・養・栄
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	全教241	生徒指導論(進路指導を含む)	必	2	2-0	2～3	前・後	中等学校における生徒指導・進路指導の理論・方法を学習する	中・高
	生徒指導の理論及び方法	全教241-1	生徒指導論	必	2	2-0	2～3	前・後	中等学校における生徒指導の理論・方法を学習する	養・栄
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	全教242	教育相談	選必	2	2-0	2	前又は後	児童・生徒の不適応問題に関して事例を通じた相談方法の修得と進路指導の概説	中・高・養・栄 いずれか1科目選択必修
		全教243	学校カウンセリング	選必	2	2-0	2	前・後	進路指導を含めたカウンセリングの理論と技術についての概説、思春期から青年期の不適応問題を中心として	

●教育実習の登録条件(4年次実習) (教育学部以外) 【※令和4年4月以降入学生より適用】

【登録条件】教育実習登録時に以下の(1)～(3)の条件を満たすことが必要となります。

(1) 以下の科目を履修済みであること。(高免は⑫を除く、養護免・栄養免は④を除く)

- ①「教職入門」②「教育原理」③「教育心理学」④「教育におけるICT活用」⑤「教育相談or学校カウンセリング」⑥「教育課程」⑦「教育方法」
 ⑧「生徒指導論」(進路指導を含む) (※養護・栄養教諭においては「生徒指導論」) ⑨「道徳教育の理論と実践」
 ⑩「各教科の指導法」の科目から4単位以上(ただし、高免の場合は4単位のうち2単位までは同時履修であることを可とする)
 ⑪「教科に関する専門的事項」に係る科目に関しては、必修単位の4分の3以上 ⑫「学校教育実践指導Ⅰ」

(2) 以下の科目を履修済み又は同時履修中であること。

- ⑧「教育社会学A又はB」
 ⑩「特別活動論」⑪「特別な支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援」

(3) 以下の科目を同時履修すること。

- ⑫「学校教育実践指導Ⅱ」 ※栄養免は「栄養教育実践研究」、養護免は「養護実践演習」

科目名	受講年次	条件①		条件②	備考
		履修済み	同時履修		
① 教職入門	1年前期～1年後期	○			
② 教育原理	1年後期～2年前期	○			
③ 教育心理学	2年前期～2年後期	○			
④ 教育におけるICT活用	1年後期～2年前期	○			栄養免、養護免は除く
⑤ 教育相談or学校カウンセリング	2年前期～2年後期	○			
⑥ 教育課程	2年前期～3年後期	○			
⑦ 教育方法	2年前期～3年後期	○			
⑧ 教育社会学AorB	2年前期～3年後期	○	○		
⑨ 生徒指導論(進路指導を含む)	2年前期～3年後期	○			栄養免、養護免は「生徒指導論」
⑩ 特別活動論	3年前期～3年後期	○	○		
⑪ 特別な支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援	3年前期～3年後期	○	○		
⑫ 道徳教育の理論と実践	2年前期～3年後期	○			中免、栄養免、養護免のみ
⑬ 各教科の指導法科目	2年前期～3年後期	○	※	4単位以上 (※高免については、4単位のうち2単位までは同時履修可とする。)	
⑭ 教科に関する専門的事項に係る科目		○		必修単位の4分の3以上	
⑮ 学校教育実践指導Ⅰ	3年後期	○			栄養免、養護免は除く
⑯ 学校教育実践指導Ⅱ	4年前又は通年		○		栄養免は栄養教育実践研究、 養護免は養護実践演習を履修

必修・選択必修の科目で登録条件となっていない科目

科目名	受講年次
総合的な学習の時間	3年前期～

6. 副免のための教育課程

副免のための授業科目（教育実習を除く）の履修は開放されているが、教育実習を履修しこれらの教員免許状を取得することは教育学部の学生に限る。

履修にあたっては、便覧の巻末に掲載されている教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則を参照して下さい。

（１）特別支援学校教諭免許状（領域：知的障害者・肢体不自由者・病弱者）取得のための教育課程

特別支援教育に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応する授業科目		単位	週時間	受講年次	学 期	必修選択の別
特別支援教育に関する科目		左記の科目に含めるべき科目	科目番号	科 目 名					特支二種免
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目		特支103	特別支援教育概説	2	2－0	3	前	必修
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	特支203	知的障害者の心理・生理・病理	2	2－0	3	前	必修
			特支312	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2－0	3	前	必修
			特支303	病弱者の心理・生理・病理	2	2－0	3	前	必修
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	特支201	知的障害者教育	2	2－0	3	後	必修
			特支301	肢体不自由者教育	2	2－0	3	後	必修
			特支302	病弱者教育	2	2－0	3	後	必修
第三欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	特支316	特別支援教育のための心理・生理・病理概説	2	2－0	2～3	後	必修
			特支313	視覚障害者教育	1	1－0	3	後	必修
		・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	特支314-1	聴覚障害者教育A	1	1－0	3	後	選択必修 (聴覚障害者教育A又はBのいずれか1科目を選択必修)
			特支314-2	聴覚障害者教育B	1	1－0	3	後	
			特支317	重複障害者教育	1	1－0	3	前	
			特支211	発達障害者教育	1	1－0	3	前	
第四欄	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		教共452	特別支援学校教育実践研究	1	0－2	4	前	必修
			教共453	特別支援学校教育実習	3	3週間	4	前	必修
				計	24				

注 意

1. 幼、小、中又は高校のいずれかの教員免許を取得していること。（取得見込みを含む。）
2. 小学校教育実習Aもしくは中学校教育実習Aを履修済みのこと。
3. 特別支援学校教育実習の登録条件
 - ア) 「特支103 特別支援教育概説」、「特支201 知的障害者教育」、「特支301 肢体不自由者教育」を履修済みのこと。
 - イ) 実習時期と期間 : 5～6月に3週間（15日間）